

誰もが安心してできる未来を オール筑西で 築いていきたいと思います

市民のみなさんには、輝かしい初春を健やかに迎えたいこととお慶び申し上げます。令和3年の新春にあたり、ごあいさつを申し上げます。

今年の干支は「丑」です。丑には粘り強さや堅実さ、誠実さといった意味合いがあると聞きます。

市政運営につきましても、粘り強く着実に、安心・安全なまちづくりを進めていきますので、みなさんには、なお一層のご協力をお願いします。

ポストコロナに向けて

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちが経験したことのない社会状況となった一年でした。

市内でも、多数の感染者が確認された中、みなさんには不要不急の外出自粛や営業自粛、また、下館祇園まつりをはじめとする大きなイベントの中止など、大きな負担やご理解をいただいたことに、心から感謝します。

今後は、市民生活を維持しつつ、まちに安心と活力を取り戻すことができるよう、社会経済の回復に向けた対策をしっかりと講じていきますので、引き続きのご協力をお願いします。



筑西市長

須藤 茂

人口減少対策と誰にもやさしいまちづくり

本市では、生まれてくる人と亡くなった人の差（自然減）が大きく影響し、人口が10万人を割りました。

人口減少は、全国的な問題ですが、本市ではその対策として、昨年4月から本市に生まれたお子さん一人につき20万円の支給（誕生祝金事業）や保育料の助成（多子世帯保育料軽減事業）、小中学校入学時の入学祝い品の贈呈、そして子育て世代の住宅取得支援などを行っています。妊娠から出産、子育てまで、切れ目ない支援を実施しているところですが、また、高齢者や交通弱者のために、公共交通の充実など、誰にもやさしいまちづくりを、引き続き進めていきます。

オール筑西で安心してできる未来を

令和3年は、新型コロナウイルスの終息を願うとともに、十分な感染対策、そして今後も進むと思われる、人口減少と少子高齢化への対応など、さまざまな課題に、積極的に取り組んでいきます。誰もが安心してできる未来を、オール筑西で築いていきたいと思います。

最後になりますが、今年一年、筑西市民のみなさんが幸せな年になりますことをご祈念し、年頭のご挨拶とします。